

2020. 5. 19

畑 啓之

新型コロナウイルスのワクチン完成がまちかとの情報に株価も急上昇した

早くてもその完成までに1年半はかかるかと言われている新型コロナウイルスのワクチンであるが、米国および日本の株式市場はそれがもう完成したように、俊敏な反応を示した。

その発端は、米国の Moderna 社がウイルス開発で良い感度を得たと発表をしたことによる。(以下の同社ホームページを参照)



この発表内容は素晴らしく、ワクチンが早く市場に供給できることを望むものである。ただ、今後、作用の確認はもとより副作用の確認、それがパスすれば大量生産体制の確立と、株式市場が受け止めているように明日からワクチンが市場に供給されるわけではない。

ウイルスは変異するものである。そのこともワクチン開発のリスクとなるだろう。市場で試験をする段階に患者数が激減してしまっているかもしれない。これは喜ばしきことであるが、ワクチン開発にとってはやはり向かい風か？ SARS や MERS のワクチンがいまだに完成していない理由はどこにあるのだろうか？

私にとっては期待半分、不安半分のニュースである。株式市場は見方によっては能天気である。一喜一憂、その姿は何に例えればよいのだろうか？

日本の株価 一時 500 円以上上昇 ワクチン好感の米市場受け

日本テレビ系 5/19(火) 12:39 配信

ワクチン開発への期待感が広がり、株価が上昇したニューヨーク株式市場に続き、東京市場もほぼ全面高の展開で、日経平均株価は一時 500 円以上上昇した。

東京市場でも、経済活動再開への強い期待感が相場を押し上げている。

18 日のニューヨーク市場は、バイオ企業が開発中のワクチンの臨床試験で、有望な結果が得られたとの発表を受けて、経済活動の正常化への期待が広がり、ダウ平均は 900 ドル以上値上がりした。

この流れを受け、東京市場でも買い注文が膨らみ、幅広い銘柄に買いが入り、ほぼ全面高の展開となった。

ワクチン開発が上手く進行中であるとの情報公開

Moderna Announces Positive Interim Phase 1 Data for its mRNA Vaccine (mRNA-1273)
Against Novel Coronavirus

May 18, 2020 at 7:30 AM EDT

<https://investors.modernatx.com/news-releases/news-release-details/moderna-announces-positive-interim-phase-1-data-its-mrna-vaccine/>

After two doses all participants evaluated to date across the 25 µg and 100 µg dose cohorts ed with binding antibody levels at or above levels seen in convalescent sera

mRNA-1273 elicited neutralizing antibody titer levels in all eight initial participants across the 25 µg and 100 µg dose cohorts, reaching or exceeding neutralizing antibody titers generally seen in convalescent sera

mRNA-1273 was generally safe and well tolerated

mRNA-1273 provided full protection against viral replication in the lungs in a mouse challenge model

Anticipated dose for Phase 3 study between 25 µg and 100 µg; expected to start in July

Conference call to be held on Monday, May 18 at 8:30 a.m. ET

(日本語訳)

モデルナは、新規コロナウイルスに対する mRNA ワクチン (mRNA-1273) の暫定的な第 1 相データを発表

2020 年 5 月 18 日 7:30 AM EDT

2 回の投与後、25 µg と 100 µg の用量コホート全体でこれまでに評価されたすべての参加者が、回復期の血清で見られるレベル以上の結合抗体レベルでセロコンバージョンしました

※cohort 同時集団などの群、コホート

※ seroconvert 血清転換する、抗体陽転する

mRNA-1273 は、25 µg と 100 µg の用量コホート全体で、8 人の最初の参加者すべてで中和抗体力価レベルを誘発し、回復期の血清で一般的に見られる中和抗体力価に到達または超えました

mRNA-1273 は一般的に安全で忍容性が高かった

mRNA-1273 はマウスチャレンジモデルで肺のウイルス複製に対する完全な保護を提供しました

25 µg から 100 µg の第 3 相試験の予想用量。7 月に始まる予定

新型コロナウイルス 治療薬・ワクチンの開発動向まとめ【COVID-19】(5月15日 UPDATE)

<https://answers.ten-navi.com/pharmanews/17853/>

COVID-19向けワクチンを開発している 主な企業・研究機関

社名	開発状況
米モデルナ	mRNAワクチン「mRNA-1273」 P1試験を米国で実施中
中国カンシノ・バイオリジクス/ 北京バイオテクノロジー研究所	ウイルスベクターワクチン P2試験を中国で実施中
米イノビオ・ ファーマシューティカルズ	DNAワクチン「INO-4800」 P1試験を米国で実施中
北京生物製品研究所/ 武漢生物製品研究所	不活化ワクチン P1試験を中国で実施中
中国シノバック・バイオテック	不活化ワクチン P1試験を中国で実施中
英オックスフォード大	ウイルスベクターワクチン「ChAdOx1 nCoV-19」 P1/2試験を英国で実施中
独ビオンテック/米ファイザー	mRNAワクチン「BNT162」 P1/2試験を欧米で実施中
米ノババックス	「NVX-CoV2373」 5月中旬にP1試験開始予定
仏サノフィ/ 英グラクソ・スミスクライン	今年後半にP1試験開始予定
米ジョンソン・エンド・ジョンソン	9月までにP1試験開始予定
仏サノフィ/ 米トランスレート・バイオ	mRNAワクチンを開発
英グラクソ・スミスクライン/ 米ビル・バイオテクノロジーズ	
アンジェス/大阪大	DNAワクチンを開発
田辺三菱製薬 (子会社のカナダ・メディカゴ)	植物由来VLPワクチンを開発。順調 に進めば8月までに臨床試験開始予定
塩野義製薬 (子会社UMNファーマ)	年内に臨床試験開始予定

WHO（世界保健機関）の情報や各社の発表情報をもとに作成